

代表質問の要旨

各会派の代表7人が、市長・教育長に対し、施政方針などを問う代表質問を行いました。質問項目は主なものを掲載しています。質問の末尾にかっこ書きの記載がない答弁は、全て市長答弁です。

保守市民クラブ

古泉 幸一



平成30年度予算編成の取り組みと除雪における雪捨て場の確保

問 平成30年度予算編成では、財源不足を基金に頼れない状況のため、1194事業で45億円を見直すなど、結果として収支均衡を達成し黒字の予算となった。市長はどのような思い、考えて財政難と位置付けた予算に取り組んだのか。

答 平成30年度予算編成では、財源不足を基金に頼れない状況のため、1194事業で45億円を見直すなど、結果として収支均衡を達成し黒字の予算となった。市長はどのような思い、考えて財政難と位置付けた予算に取り組んだのか。重点課題への対応をしっかりと

新市民クラブ

志田 常佳



公立保育園の適正配置と子ども医療費助成の県補助還元

問 本市は同規模政令市との比較で職員数が多く、その要因として公立保育園が多いことが挙げられている。国の補助金の関係で私立の方が市の財政負担は少ないという点も踏まえ、今後の公立保育園の適正配置の考え方について伺う。

答 本市は同規模政令市との比較で職員数が多く、その要因として公立保育園が多いことが挙げられている。国の補助金の関係で私立の方が市の財政負担は少ないという点も踏まえ、今後の公立保育園の適正配置の考え方について伺う。各区での適正配置を図るため、

日本共産党新潟市議会議員団

渡辺 有子



財政再建は市民と新市長の下でBRT、水と土の芸術祭の中止

問 全事務事業点検で福祉や教育などの施策を廃止、削減したことに対し「財源不足119億円が焦点化され、大変ご心配をお掛けしました」とするだけで市民への謝罪はない。財政再建は責任を取らうとしない現市長でなく、市民と新市長の下で行うべきではないか。

答 財政再建は喫緊かつ継続して取り組むべき課題であり、住民福祉のさらなる向上のため、効果的・効率的な行政運営を推進していく必要があると考えている。市民の批判が強いBRT事業は断念して生活交通の維持・強化に力を入れるべきであり、同じく水と土の芸術祭は全事務事業点検で市民に犠牲を押し付けながら開催すべきでないと考えるかどうか。

民主にいがた

渡辺 和光



万代島にぎわい空間の整備と新駅(仮称上野駅・江南駅)設置

問 万代島にぎわい空間は、整備を進めている旧水揚場跡地の多目的広場と対岸のピアBandaiと連携を図っていくとしている。真のにぎわい空間にするため、万代島全体のあるべき姿を創造するタイミングと考えるがどうか。

答 国・県や万代島周辺の関係者などからなる協議会を立ち上げ、意見交換を行っている。平成30年度は県と連携し、新潟西港のにぎわい創出に向けて調査を行う予定で、協議会の関係者の意見を踏まえ積極的に取り組んでいく。

新潟市政クラブ

金子 益夫



今後の農業政策と工業団地造成による税の増収確保

問 平成30年度産米の生産調整の見直し、従事者の高齢化と後継者不足など農業を取り巻く状況は大変厳しい。そのため、これらの状況を克服し、もうかる農業のため、コスト低減などの体質強化策と経営安定化策が行政には求められていると考えるがどうか。

答 元気な農業応援事業により農業生産額の拡大を目指し、高収益な園芸作物導入による経営改善や規模拡大への支援の他、農産物の付加価値向上の取り組みを支援するなど、効果的で安定した魅力ある農業の担い手を育成していく。

新潟市公明党

小山 進



新年度予算案と今後の財政運営

問 平成30年度当初予算編成方針で119億円の財源不足が明らかになった。全事務事業点検などにより財源不足を解消し、その行財政改革の効果を市民の安心・安全な暮らしの実現と活力ある新潟づくりの取り組みに振り向けた予算案をどのように評価するか。

答 市民サービスへの影響を最小限にしつつ収支均衡を図った。市民の安心・安全な暮らしと活力ある新潟づくりの両輪を回すことで政令市新潟の拠点化とまちづくりを前進させる予算と考えている。